

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1471100139
法人名	社会福祉法人 百鷗
事業所名	グループホーム 葉山の里
訪問調査日	平成21年9月24日
評価確定日	平成21年10月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	1471100139
法人名	社会福祉法人 百鷗
事業所名	グループホーム 葉山の里
所在地	240-0113 神奈川県三浦郡葉山町長柄253-1 (電話)046-875-8936

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F
訪問調査日	平成21年9月24日
評価確定日	平成21年10月31日

## 【情報提供票より】(平成21年7月10日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年12月1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	21 人
利用定員数計	18 人
常勤 5人, 非常勤 16人, 常勤換算 15.6人	

### (2)建物概要

建物構造	木造・一部鉄骨 造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	73,000 円	その他の経費(月額)	42,000 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	250 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4)利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	6名	要介護2	5名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 86.1歳	最低	70歳	最高	102歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	横須賀北部共済病院、青木病院、古屋歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームの経営母体は社会福祉法人百鷗で、JR逗子駅からバスで10分位の住宅地にある。お隣が大家さんの住宅で、大家さんは地元の人であり、地域に抵抗無く受け入れられている。社会福祉法人百鷗は地元葉山と逗子に特養葉山清寿苑、特養逗子清寿苑を中心にショート、デイ、居宅介護、そして2つのグループホームを展開し、地域福祉のネットワークを形成し、「地域に開かれた事業体として社会に貢献する」ことを理念に地域福祉の中核となっており、グループホーム葉山の里はその一翼を担っている。地域の人は介護が必要な時期になると、清寿苑のショートやデイを利用し、介護度、認知症が進むと特養又はグループホームなどを選択し自然な形で入居することが出来る。馴染みながらのサービス選択や地域との密着性で理想的な体制が確立出来ている。ターミナル時期には清寿苑に相談出来るのも強みの1つと云える。ホームの方針は「同じ土地で年老いて、安心して、当たり前、ゆったりと過ごせ、外に出れば知り合いに逢える、そんなホームを目指している。新任所長は同系列のグループホームびやくしんの苑からの移籍であり、利用者と一緒につるし雛や和装のインテリアをされていた方で、ここでも同好の士を募って製作とインテリアを展開し始めており、成果が期待される場所である。

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>新任所長として取り組んだことは次の3点である。①利用者さんがADL維持の為にメリハリで過ごすのが楽しい工夫をしている。手仕事、レク、若年性認知症の男性の場合は毎日欠かさぬ散歩などで活性化と筋力が低下しない1日の過ごし方を工夫している。②職員の研修については自ら学びたい意欲を起こさせる工夫と、重度化に伴う介護技術の向上に取り組んだ。③情報の共有化を図るため情報ノートを活用し、見たら必ずサインすることを徹底して共通認識が出来た体制を推進した。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は全員に記入してもらい管理者が纏めた。作成した自己評価票を再度ミーティングで確認し、最終自己評価を決定するとともに職員への周知・徹底を図った。評価が出て、評価結果報告書が渡された時点でプロセスでの気づきを含めて職員に開示し、ミーティングを行い、改善の為に検討を進めて行く予定にしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議今迄町とも相談して4ヶ月に1回のペースで人事、行事、要介護度等の変化などの報告を中心として進めて来たが、今回の法改正で受審回数の緩和には2ヶ月に1回の開催が明記されているので今後、このペースでの開催を計画している。テーマについても検討を要すると思われるが、ご家族からの意見をより多く取り入れていきたい。葉山町も運営推進会議開催に協力的である。メンバーは葉山町福祉課の職員、町内会の代表を兼任の民生委員の方、ご家族代表、利用者代表それにグループホーム葉山の里の管理者といった構成である。民生委員の方は地域活動を中心に活躍されており、ご協力頂いている。ご家族を1F,2F各①名づつに増やしたいと考えている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族との連絡の柱として介護報告書を作成し、毎月報告している。(運営推進会議の摘録も送付)内容は鑑に全体の行事・お知らせを、2枚目には個人別記録のダイジェスト版記入している。医療連携体制の申請はしていないため、医療の対応が必要となった場合に備えて、清寿苑と2グループホームの3者で「入居届検討委員会」で実施し、特養の予約ランキング等も見ながら介護度との関連を細かく見守っている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との連携では①町の人も参加する特養葉山清寿苑のイベントに参加している、②長柄下ふれあいサロンの活動への参加、③町内会そのものの行事や役員会への参加、④歌やリズム体操、折り紙のボランティアの来所、⑤こども110番の引き受け⑥隣の駐車場がお神輿の休憩所となっており、揉んでくれて入居者を楽しませてくれているなど地域に密着した活動が定着している。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体での、理念があり常に、地域に密着したホーム作りを目指している。言葉がけをする時は、自尊心を傷つけないよう配慮し、プライバシーの確保に努めている。		今後も継続して実施して行く。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ会議やミーティングの時に理念を共有し日々、実践に取り組んでいる。	○	まだ、理念を把握していない職員も少しはいる為、把握していただくよう会議等でよく話し合ったり日ごろより話題にして行く。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	下町内会に加入しており、毎月1回の定例会に参加している。又ふれあいサロンやコンサート等開催時に回覧が回って来るので参加している。		今後も自治会の活動に参加したり地域との交流を深めて行く。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義を理解し、改善が必要であれば話愛の場を設けて取り組んでいる。	○	職の評価の甘辛に多少のバラツキがあると感ずるので、自己評価をキチンと理解出来るよう指導して行く。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4カ月に1回開催し、サービスの現状報告や活動状況等報告し、それぞれの意見を取り入れている。民生委員の方は地域活動を中心に活躍されており、ご協力頂いている。		職員の人事異動やインフルエンザ対応、ボランティアの受け入れ等取り組んで行く予定。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日ごろより、市町村担当者と連絡を密にして「サービス向上に取り組んでいる。		今後も継続して実施して行く。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご家族との連絡の柱として介護報告書を作成し、毎月報告している。(運営推進会議の摘録も送付)内容は鑑に全体の行事・お知らせを、2枚目には個人別記録のダイジェスト版記入している。その他では預かり金報告をし、写真や作品など同封している。利用者の体の変化や等気づいたことは家族にお伝えしている。又専門職(医師等)に相談し早急に対応している。		今後も継続して実施して行く。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からの意見、不満苦情等は会議を設け話し合い、早急に対応している。		今後も継続して実施して行く。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人も異動を最小限に抑えるよう努力しているが、2年に1回ぐらい常勤職員の異動はある。チームケアに徹し、利用者へのダメージは最小限になるよう配慮をしている。		利用者へのダメージを防ぐ配慮を継続して行く。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員を段階に応じて育成する為の計画を立て、法人内外の研修を受ける機会を設け、実施している。	○	人数に限りがあるため全員ではないので、今後はきちんと研修年間計画を立てみんなで実践できたら良いと思っている。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者交流会は年1回実施されているが、葉山、逗子でのグループホーム間での交流は現状では休止になっている。	○	ネットワーク作りや交流の必要性はわかっていますが、現実的には休止の状態である為今後は活動が再開できるよう取り組んでいきたいと思っている。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	社会福祉法人 百鷗のネットワークを十分に活用し、出来る限り本人や家族に説明し、納得し、馴染んでいただけよう努めている。		職員や他の利用者場の雰囲気にすこしづつ馴染めるよう家族とも相談しながら行っている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり支えあう関係が築けるよう努めている。美しいものを見ては一緒に感動したり感動したり、美味しい物を食べては一緒に喜んだりして過ごしている。		今後も継続して実施して行く。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ミーティングや会議等で情報の共有を図り暮らしの現状を把握するよう努めている。一人一人の思いに沿うような生活をして頂きたいと努めているが日々の心の変化にも対応していきたい。		今後も継続して実施して行く。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族と継続的に話し合いを持ち、希望や意見を取り入れ介護計画を作成している。身体的な事では医師に相談したり、家族や職員間の意見等を反映させている。		今後も継続して実施して行く。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	常に現状に応じた介護計画を作成している。又状態に変化が生じた時は可能な限り話し合いの場を持ち必要な計画を作成している。期間見直し及び見直し以前に対応出来ない変化が生じた時は必要な関係者と話し合い現状に即した新たな計画を立てるように努めている。		今後も継続して実施して行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人で開催している入退去検討委員会に出席し情報交換を行い要望に応じて必要な支援をしている。本人、家族の状況その時々々の要望に応えられるよう努めている。		今後も継続して実施して行く。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向を大切にして適切な医療が受けられるよう支援している。		今後も継続して実施して行く。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	補遺人やかかりつけ医又家族と話し合いの場を持ち方針の共有に努めている。		家族や本人の意思に沿って、重度化や終末期に向けた方針の共有に努めている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けをする時は、自尊心を傷つけないよう配慮し、個人情報に注意しながらプライバシーの確保に努めている。		今後も継続して実施して行く。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り、利用者のペースで生活できるよう支援しているが、食事の時間や入浴日等職員側で決めているときもある。	○	一人一人のペースを大切にして、ご自分の希望や思いを表せない人に対しても望まれるサービス提供出来るよう努めて行きたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を取り入れながら、メニューを作成するよう心がけている。食事の形態も希望を取り入れている。又出来る方には職員と一緒に準備・片付け・食器拭きなどをしていただいている。		今後も継続して実施して行く。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は施設で決めているが、利用者が汗をかいたり、望む時は入浴していただいている。拒否があるときは時間を空けて再度声かけしている。利用者が希望する時に入浴を楽しめるよう、一層検討し、工夫して行く。		今後も継続して検討して行く。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が、好きな事をして過ごせるような環境作りを行っている。又出来る方にはモップがけや掃除などに参加してもらっている。最近では介護度が高くなっている方も多く役割を実行出来ない方もいるが、出来る範囲内で支援を行うようにしている。		今後も継続して実施して行く。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所を散歩されたり、外食やドライブを実施している。5月から新型インフルエンザの流行の為7月まで中止している。可能な限り、外出できる環境を作り、季節を味わっていただくようにして行く。		今後も継続して実施して行く。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵は利用者に任せている。玄関の鍵は安全の為掛けており、門扉は日中は開けてる。現在の状況では道路に面しており危険防止の為にも玄関の施錠は止むを得ないが、閉塞感の無い暮らしの工夫を今後も検討して行く。		今後も継続して検討して行く。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は行っているが地震、水害を想定しての訓練は行っていない。	○	今後は想定しての訓練を行って行きたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのときの状態に応じた栄養バランスを考え提供している。メニュー作成時バランスを考えている。個々の咀嚼力に応じた食事形態や水分摂取量の支援に努めている。		今後も継続して実施して行く。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には常に花を飾ったり、香りを楽しめるよう工夫したり、玄関カレンダーには手作りの日めくりカレンダーを置き、利用者が毎日楽しみながらめくっている。日々利用者の皆様が居心地よく暮らせるよう努めている。又利用者さんの手作り作品を飾り付けて楽しんでいただくよう心がけて行く。		新任所長の利用者と一緒を作るつるし雛等の教育には大いに期待し、楽しみにしている。利用者の生きがいを是非見つけてあげて欲しい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談して使い慣れた品物をお使いいただき、居心地よく過ごせるよう工夫している。		今後も継続して実施して行く。



# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的に客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明


評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 葉山の里
(ユニット名)	一色・森戸
所在地 (県・市町村名)	神奈川県三浦郡葉山町長柄253-1
記入者名 (管理者)	高橋 正美
記入日	平成 21 年 8 月 27 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている 法人全体での、理念があり常に、地域に密着したホーム作りを目指している。	○	言葉がけをする時は、自尊心を傷つけないよう配慮し、プライバシーの確保に努めている。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる スタッフ会議やミーティングの時に理念を共有し日々、実践に取り組んでいる。	○	理念を把握していない職員もいる為、把握していただくよう会議等でよく話し合ったり日ごろより話題にしていこう。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる 家族には入所の時に契約書や重要事項で説明している。地域の人にも来苑時理念を説明している。	○	今後も更に地域とのかかわりや、隣近所との付き合いを蜜にしていきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている 常に良い付き合いが出来るように努めている。隣の大家さんや近所の方が花を植えたり、花を持参して下さる関係が出来ている。	○	ふれあいサロン等でお会いする地域の方や散歩で会う方たちも気軽に声をかけてくださる。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている 下町内会に加入しており、毎月1回の定例会に参加している。又ふれあいサロンやコンサート等開催時に回覧が回ってくるので参加している。	○	今後も自治会の活動に参加したり地域との交流を深めていきたい。
項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>町内会の定例会に参加し、ホームとして出来る事や支援の話し合いはしているが、まだ取り組んではない。</p>	○	<p>地域の高齢者の方が利用者の顔を見に来られ花を持ってきてくださる。もっとたくさんの高齢者の方が気軽に遊びに来て下さるよう取り組んでいきたい。</p>
---	---	---	---	--

### 3. 理念を実践するための制度の理解と活用

7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価の意義を理解し、改善が必要であれば話愛の場を設けて取り組んでいる。</p>	○	<p>職員の一部の方は、評価が甘い方もいるので、自己評価をキチンと理解していただくよう取り組んでいきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>4か月に1回開催し、サービスの現状報告や活動状況等報告し、それぞれの意見を取り入れている。</p>	○	<p>職員の人事異動やインフルエンザ対応、ボランティアの受け入れ等取り組んでいきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日ごろより、市町村担当者と連絡を密にして「サービス向上に取り組んでいる。</p>	○	<p>今後も継続して行きたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修等に参加して学んでいる。必要な人には支援している。</p>	○	<p>必要な方には、過去においても活用できるよう支援してきた。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待が見過ごされることがないよう職員全員で、虐待防止の徹底に努めている。</p>	○	<p>虐待を見過ごさないよう注意を払い努めている。</p>

項目

取り組みの事実  
(実施している内容・実施していない内容)

(○印)

取り組んでいきたい内容  
(すでに取り組んでいることも含む)

### 4. 理念を実践するための体制

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族には、十分な説明を行い理解や納得をされているが、利用者には説明を行っていますが十分な説明にはなっていない部分もある。	○	今後は契約前に、お試して2～3日体験できるよう検討している。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者とのコミュニケーションは日頃より持ち意見、不満、苦情等に応えられるよう努めている。	○	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月1回介護内容記録や、預かり金報告をし、写真や作品など同封している。	○	利用者の体の変化や等気づいたことは家族にお伝えしている。又専門職(医師等)に相談し早急に対応している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からの意見、不満苦情等は会議を設け話し合い、早急に対応している。	○	今後も継続して対応していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を吸い上げられるようスタッフ会議、常勤会議は毎月行っている。	○	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟な対応が出来るよう勤務調整を行っている。	○	利用者や家族の状況の変化要望に柔軟な対応ができるように努め勤務調整を行っている。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人も異動を最小限に抑えるよう努力しているが、2年に1回ぐらい常勤職員の異動はあります。	○	利用者へのダメージを防ぐ配慮はしている。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	<p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員を段階に応じて育成する為の計画を立て法人内外の研修を受ける機会を実施している。</p>	○	<p>人数に限りがあるため全員ではないので、今後はきちんと研修年間計画を立てみんなで実践できたら良いと思っています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業者交流会は年1回実施されているが、葉山、逗子でのグループホーム間での交流は現状では休止になっている。</p>	○	<p>ネットワーク作りや交流の必要性はわかっていますが、現実的には休止の状態である為今後は活動が再開できるよう取り組んで行きたいと思っています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>年数回産業医の面接が受けられるような体制が出来ている。又管理者が職員の体調管理に取り組んでいけるような指導も受けている。</p>	○	<p>1年に1回管理者と職員の面接を行いストレス軽減に向けた取り組みを行いたいと思っている。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>向上心をもって働けるような職場作りを目指している。</p>	○	<p>職員個々の努力や実績、勤務状況を常に把握し話し合いの場を持ち向上心を持って働けるよう努めている。</p>

## Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>職員側から積極的に話しかけられる等してよく聴けるよう努力している。</p>	○	<p>所長との個人面談も行っている。いろいろな角度から考え信頼関係を築いている。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族からの意見や、話をよく聴く機会を設け受け止める努力をしている。</p>	○	<p>1ヶ月に一度お出しする手紙(介護内容報告含む)にてご家族の意見を聞かせていただくよう連絡事項でお尋ねする事もある。</p>
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時、まず見学をして頂き必要としている支援を聞き出し本人の一番求めているサービス利用を見極めている。</p>	○	<p>相談を受けた時に、本人と家族が必要としている支援を見極め又他のサービス利用も含めた対応を行っている。</p>

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来る限り本人や家族に説明し、馴染んでいただけるよう努めている。	○	職員や他の利用者場の雰囲気にすこしづつ馴染めるよう家族とも相談しながら行っている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり支えあう関係が築けるよう努めている。	○	美しいものを見ては一緒に感動したり感動したり、美味しい物を食べては一緒に喜んだりして過ごしています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に家族との情報交換を蜜にして相談しながらよい関係を保ち一緒に本人を支えている。	○	利用者の家族に今以上に、面会に来て頂けることが理想ですが、事情もあるので、とにかく連絡を蜜にとり近況を知っていただきたいと思う。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族とのよりよい関係に向けた支援を行っている。	○	離れて暮らしていても家族は各利用者にとって大切な存在です。よりよい関係が築けるよう双方の立場に立ち支援している。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なるべく馴染みの方が来苑出きるような雰囲気を作り支援している。	○	利用者の皆さんの大切な人間関係が途切れないよう面会に来られた時などは、感謝の気持ちを持ち対応していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人一人が孤立しないよう利用者の関わり合いを支えあえるよう努めている。	○	「お一人が好き」と言う利用者もいられますがレクなどには参加され孤立しないよう気配りをしている。
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、断ち切らない付き合いをしている。	○	利用者や家族との関係は断ち切らない。

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ミーティングや会議等で情報の共有を図り暮らしの現状を把握するよう努めている。	○	一人一人の思いに沿うような生活をして頂きたいと努めているが日々の心の変化にも対応していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人がよりよく暮らす為課題となっているケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い介護計画を作成している。	○	一人一人の生活歴の資料に目を通しその人らしい生活が出るよう努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている	暮らしの現状を把握するよう努めている。	○	お一人お一人の身体状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている。

#### 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族と継続的に話し合いを持ち、希望や意見を取り入れ介護計画を作成している。	○	身体的な事では医師に相談したり、家族や職員間の意見等を反映させている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	常に現状に応じた介護計画を作成している。又状態に変化が生じた時は可能な限り話し合いの場を持ち必要な計画を作成している。	○	期間見直し及び見直し以前に対応出来ない変化が生じた時は必要な関係者と話し合い現状に即した新たな計画を立てるよう努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のミーティングや毎月1回のスタッフ会議で情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。	○	毎日の申し送り(朝・夕)、ケース会議、スタッフ会議等で情報を共有しながら実践や、介護計画の見直しに活かしている。

3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人で開催している入退去検討委員会に出席し情報交換を行い要望に応じて必要な支援をしている。	○	本人、家族の状況その時々要望に応えられるよう努めている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	4月より長柄小学校との交流を始めたが5月より新型インフルエンザ対策により運動会は中止した。又下町内会との支援も中止させていただいた。	○	ボランティアは今後も受け入れて行きたい。出来るだけ必要性により地域資源との協働に努めたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の必要に応じて法人全体で、話し合い支援をしている。	○	今後も継続して支援していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて地域包括支援センターと協働している。	○	今後も継続して支援していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向を大切に適切な医療が受けられるよう支援している。	○	本人家族の希望を大切に適切な医療を受けていただいている。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	状況により支援している。	○	家族の希望、本人の希望により必要とあれば支援する。
	○看護職との協働			



45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	法人内や地域の看護職とも協働している。	○	看護師に必要な場合は相談し、日常の健康管理を行っている。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係者との情報交換や相談に努めている。入院した際は面会に行き病院関係者との情報を得よう努めている。	○	利用者の症状や経過情報を得情報交換や相談に努めている。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	補遺人やかかりつけ医又家族と話し合いの場を持ち方針の共有に努めている。	○	家族や本人の意思に沿って、重度化や終末期に向けた方針の共有に努めている。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期に向けたチームでの支援に努めている。	○	今後の変化の備えて準備や検討を行っている。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人や家族の希望を聞きながら住み替えによるダメージの防止に努めている。	○	今後も継続して実施していく。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けをする時は、自尊心を傷つけないよう配慮し、プライバシーの確保に努めている。	○	個人情報に注意しながら行う。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に声かけし、良く話しを聞き利用者の希望を理解し自己決定できるような支援をしていく。	○	集団生活の中で個人のペースで生活を行う難しさがあるが、利用者と話をしながら、希望に沿えるよう努力していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り、利用者のペースで生活できるよう支援しているが、食事の時間や入浴日等職員側で決めているときもある。	○	一人一人のペースを大切にして、ご自分の希望や思いを表せない人に対しても望まれるサービス提供出来るよう努めて生きたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	衣類などご自分で選ばれているが、着こなしに問題があった時は、さりげなく声かけし、直していただく。理美容は希望される時は、お連れしている。又苑でもカットしている。	○	今後も継続していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を取り入れながら、メニューを作成するよう心がけている。食事の形態も希望を取り入れている。又出来る方には職員と一緒に準備・片付け・食器拭きなどをしていただいている。	○	今後も継続していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者が希望されたものは、提供している。:おやつ時は飲み物等好みを聞いている。現在はアルコールやタバコを必要とする方はおりません。	○	今後も継続していきたい。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄パターンを把握して必要な利用者には、誘導 見守り支援している。	○	今後も現状維持を保てるよう努力していきたい。
	○入浴を楽しむことができる支援			

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は施設で決めているが、利用者が汗をかいたり、望む時は入浴していただいている。拒否があるときは時間を空けて再度声かけしている。	○	利用者が希望する時に入浴を楽しめるよう、検討が必要だと思う。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の睡眠パターンを把握し、気持ちよく休む事ができるよう支援している。昼寝する方にはしていただいたり、希望に沿った休息をしていただいている。	○	一人ひとりが自宅で生活しているように自由な休息・安眠を促している。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が、好きな事をして過ごせるような環境作りを行っている。又出来る方にはモップがけや掃除などに参加されている。	○	最近介護度が高くなっている方も多く役割を実行出来ない方もいるが、出来る範囲内で支援を行って行きたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	苑でお預かりしている。買い物に職員と一緒にいかれた時、希望があれば使われている。	○	バザーや買い物ツアー等お金を使う機会や環境を提供できるようにしていきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所を散歩されたり、外食やドライブを実施している。5月から新型インフルエンザの流行の為7月まで中止している。	○	可能な限り、外出できる環境を作り、季節を味わっていただくようにしたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	新型インフルエンザの影響の為実施出来ていない。	○	ご家族やボランティアの力をかして頂き外出や外食等実施できるよう努力していきたい。:
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手作りはがきやを作成して、てがみを書いたり電話の支援を行っている。	○	利用者のご家族から電話がかかってきたり手紙が届いています。
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問できるよう説明を行い支援している。定期的に姉妹で来苑され楽しいひとときを過ごされているご家族もいます。	○	今後も継続していきたい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵は利用者に任せています。玄関の鍵は安全の為に掛けており門扉は日中は開けてる。	○	現在の状況では道路に面しており危険防止の為に玄関の施錠は仕方がないと思っています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら安全を確保するよう配慮している。	○	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に応じて取り組んでいる。	○	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に一人ひとりの状態を考え転倒防止に取り組んでいる。	○	事故を未然に防ぐよう取り組んでいるが、現状では、転倒のリスクがかなり大きい。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	すべての職員が応急手当や初期対応の訓練は出来ていない。	○	全職員対象に訓練を行えるよう検討していきたい。
	○災害対策			

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は行っているが地震、水害を想定しての訓練は行っていない。	○	今後は想定しての訓練を行って行きたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスク対応に関する家族との話し合いは行っている。	○	常に気づいた事は家族に伝えている。リスク対応に関する家族との話し合いも行っている。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異常には速やかに報告し、情報を共有し対応している。	○	今後も継続していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や用法、用量について理解しているが少人数の職員は理解していない人もいる。	○	利用者が服用している薬の内容を全職員が理解できるように指導していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便状況に注意し、野菜等繊維質が不足しないよう配慮したり必要時には下剤など服用していただいている。	○	下剤にたよるだけでなく、散歩や体操等からだを動かして排便を促すよう支援していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後利用者の口腔内の環境に応じた口腔ケアを行っている。	○	個々に合わせて口腔ケア歯間ブラシなど使用しもっと充実したケアを行っていきたい。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのときの状態に応じた栄養バランスを考え提供している。メニュー作成時バランスを考えている。個々の咀嚼力に応じた食事形態や水分摂取量の支援に努めている。	○	
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人全体で感染症委員会を設置定期的に開催。予防対策を実施している。手すり、トイレ、ドアなど毎日消毒を行っている。又手洗い、うがいを十分行っている。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に衛生管理に十分な注意を払い毎日ふきん、まな板の消毒や調理用品を定期的に消毒を行い食材は前日に使用する分だけ購入し賞味期限を守っている。	○	
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前では季節の花が植えられ、玄関や階段には四季折々の飾りつけをしたり、アロマや照明で来苑者をもてなす工夫をしている。	○	地域の花やさんの好意により毎週1回お花の提供があり苑内に飾って楽しんだり、入浴の際フラワー入浴を楽しまれている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には常に花を飾ったり、香りを楽しめるよう工夫したり、玄関カレンダーには手作りの日めくりカレンダーを置き、利用者が毎日楽しみながらめくっている。	○	日々利用者の皆様が居心地よく暮らせるよう努めている。又利用者さんの手作り作品を飾り付けて楽しんでいただくよう心がけていく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関フローア長椅子、食堂内には藤椅子が置いてあるが、余り活用されていない。	○	今後はフローアや廊下に椅子やミニテーブルを置いたり工夫していきたい。
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談して使い慣れた品物をお使いいただき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	○	
	○換気・空調の配慮			

84	<p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>温度調整はこまめに行い換気を行っている。においなどは注意を払い香りなどで工夫している。</p>	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全な環境作りに努めている。</p>	○	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>わかる力を活かして環境作りを行っている。:五感を働かしたり刺激ある生活の場を工夫している。</p>	○	
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の外回りや玄関周りの花壇作り、裏庭の畑で野菜を収穫し食材に使用し又利用者の居室から畑を見る事が出来喜んでいる。</p>	○	

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的に客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明


評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 葉山の里
(ユニット名)	一色・森戸
所在地 (県・市町村名)	神奈川県三浦郡葉山町長柄253-1
記入者名 (管理者)	高橋 正美
記入日	平成 21 年 8 月 27 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている 法人全体での、理念があり常に、地域に密着したホーム作りを目指している。	○	言葉がけをする時は、自尊心を傷つけないよう配慮し、プライバシーの確保に努めている。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる スタッフ会議やミーティングの時に理念を共有し日々、実践に取り組んでいる。	○	理念を把握していない職員もいる為、把握していただくよう会議等でよく話し合ったり日ごろより話題にしていこう。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる 家族には入所の時に契約書や重要事項で説明している。地域の人にも来苑時理念を説明している。	○	今後も更に地域とのかかわりや、隣近所との付き合いを蜜にしていきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている 常に良い付き合いが出来るように努めている。隣の大家さんや近所の方が花を植えたり、花を持参して下さる関係が出来ている。	○	ふれあいサロン等でお会いする地域の方や散歩で会う方たちも気軽に声をかけてくださる。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている 下町内会に加入しており、毎月1回の定例会に参加している。又ふれあいサロンやコンサート等開催時に回覧が回ってくるので参加している。	○	今後も自治会の活動に参加したり地域との交流を深めていきたい。
項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>町内会の定例会に参加し、ホームとして出来る事や支援の話し合いはしているが、まだ取り組んではない。</p>	○	<p>地域の高齢者の方が利用者の顔を見に来られ花を持ってきてくださる。もっとたくさんの高齢者の方が気軽に遊びに来て下さるよう取り組んでいきたい。</p>
---	---	---	---	--

### 3. 理念を実践するための制度の理解と活用

7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価の意義を理解し、改善が必要であれば話愛の場を設けて取り組んでいる。</p>	○	<p>職員の一部の方は、評価が甘い方もいるので、自己評価をキチンと理解していただくよう取り組んでいきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>4か月に1回開催し、サービスの現状報告や活動状況等報告し、それぞれの意見を取り入れている。</p>	○	<p>職員の人事異動やインフルエンザ対応、ボランティアの受け入れ等取り組んでいきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日ごろより、市町村担当者と連絡を密にして「サービス向上に取り組んでいる。</p>	○	<p>今後も継続して行きたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修等に参加して学んでいる。必要な人には支援している。</p>	○	<p>必要な方には、過去においても活用できるよう支援してきた。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待が見過ごされることがないよう職員全員で、虐待防止の徹底に努めている。</p>	○	<p>虐待を見過ごさないよう注意を払い努めている。</p>

項目

取り組みの事実  
(実施している内容・実施していない内容)

(○印)

取り組んでいきたい内容  
(すでに取り組んでいることも含む)

### 4. 理念を実践するための体制

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族には、十分な説明を行い理解や納得をされているが、利用者には説明を行っていますが十分な説明にはなっていない部分もある。	○	今後は契約前に、お試して2～3日体験できるよう検討している。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者とのコミュニケーションは日頃より持ち意見、不満、苦情等に応えられるよう努めている。	○	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回介護内容記録や、預かり金報告をし、写真や作品など同封している。	○	利用者の体の変化や等気づいたことは家族にお伝えしている。又専門職(医師等)に相談し早急に対応している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からの意見、不満苦情等は会議を設け話し合い、早急に対応している。	○	今後も継続して対応していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を吸い上げられるようスタッフ会議、常勤会議は毎月行っている。	○	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟な対応が出来るよう勤務調整を行っている。	○	利用者や家族の状況の変化要望に柔軟な対応ができるように努め勤務調整を行っている。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人も異動を最小限に抑えるよう努力しているが、2年に1回ぐらい常勤職員の異動はあります。	○	利用者へのダメージを防ぐ配慮はしている。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	<p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員を段階に応じて育成する為の計画を立て法人内外の研修を受ける機会を実施している。</p>	○	<p>人数に限りがあるため全員ではないので、今後はきちんと研修年間計画を立てみんなで実践できたら良いと思っている。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業者交流会は年1回実施されているが、葉山、逗子でのグループホーム間での交流は現状では休止になっている。</p>	○	<p>ネットワーク作りや交流の必要性はわかっていますが、現実的には休止の状態である為今後は活動が再開できるよう取り組んでいきたいと思っています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>年数回産業医の面接が受けられるような体制が出来ている。又管理者が職員の体調管理に取り組んでいけるような指導も受けている。</p>	○	<p>1年に1回管理者と職員の面接を行いストレス軽減に向けた取り組みを行いたいと思っている。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>向上心をもって働けるような職場作りを目指している。</p>	○	<p>職員個々の努力や実績、勤務状況を常に把握し話し合いの場を持ち向上心を持って働けるよう努めている。</p>

## II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>職員側から積極的に話しかけられる等してよく聴けるよう努力している。</p>	○	<p>所長との個人面談も行っている。いろいろな角度から考え信頼関係を築いている。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族からの意見や、話をよく聴く機会を設け受け止める努力をしている。</p>	○	<p>1ヶ月に一度お出しする手紙(介護内容報告含む)にてご家族の意見を聞かせていただくよう連絡事項でお尋ねする事もある。</p>
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時、まず見学をして頂き必要としている支援を聞き出し本人の一番求めているサービス利用を見極めている。</p>	○	<p>相談を受けた時に、本人と家族が必要としている支援を見極め又他のサービス利用も含めた対応を行っている。</p>

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来る限り本人や家族に説明し、馴染んでいただけるよう努めている。	○	職員や他の利用者場の雰囲気にすこしづつ馴染めるよう家族とも相談しながら行っている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり支えあう関係が築けるよう努めている。	○	美しいものを見ては一緒に感動したり感動したり、美味しい物を食べては一緒に喜んだりして過ごしています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に家族との情報交換を蜜にして相談しながらよい関係を保ち一緒に本人を支えている。	○	利用者の家族に今以上に、面会に来て頂けることが理想ですが、事情もあるので、とにかく連絡を蜜にとり近況を知っていただきたいと思う。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族とのよりよい関係に向けた支援を行っている。	○	離れて暮らしていても家族は各利用者にとって大切な存在です。よりよい関係が築けるよう双方の立場に立ち支援している。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なるべく馴染みの方が来苑出きるような雰囲気を作り支援している。	○	利用者の皆さんの大切な人間関係が途切れないよう面会に来られた時などは、感謝の気持ちを持ち対応していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人一人が孤立しないよう利用者の関わり合いを支えあえるよう努めている。	○	「お一人が好き」と言う利用者もいられますがレクなどには参加され孤立しないよう気配りをしている。
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、断ち切らない付き合いをしている。	○	利用者や家族との関係は断ち切らない。

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ミーティングや会議等で情報の共有を図り暮らしの現状を把握するよう努めている。	○	一人一人の思いに沿うような生活をして頂きたいと努めているが日々の心の変化にも対応していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人がよりよく暮らす為課題となっているケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い介護計画を作成している。	○	一人一人の生活歴の資料に目を通しその人らしい生活が出るよう努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	暮らしの現状を把握するよう努めている。	○	お一人お一人の身体状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている。

#### 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族と継続的に話し合いを持ち、希望や意見を取り入れ介護計画を作成している。	○	身体的な事では医師に相談したり、家族や職員間の意見等を反映させている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	常に現状に応じた介護計画を作成している。又状態に変化が生じた時は可能な限り話し合いの場を持ち必要な計画を作成している。	○	期間見直し及び見直し以前に対応出来ない変化が生じた時は必要な関係者と話し合い現状に即した新たな計画を立てるように努める。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のミーティングや毎月1回のスタッフ会議で情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。	○	毎日の申し送り(朝・夕)、ケース会議、スタッフ会議等で情報を共有しながら実践や、介護計画の見直しに活かしている。



3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人で開催している入退去検討委員会に出席し情報交換を行い要望に応じて必要な支援をしている。	○	本人、家族の状況その時々要望に応えられるよう努めている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	4月より長柄小学校との交流を始めたが5月より新型コロナウイルス対策により運動会は中止した。又下町内会との支援も中止させていただいた。	○	ボランティアは今後も受け入れて行きたい。出来るだけ必要性により地域資源との協働に努めたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の必要に応じて法人全体で、話し合い支援をしている。	○	今後も継続して支援していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて地域包括支援センターと協働している。	○	今後も継続して支援していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	本人や家族の意向を大切に適切な医療が受けられるよう支援している。	○	本人家族の希望を大切に適切な医療を受けていただいている。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	状況により支援している。	○	家族の希望、本人の希望により必要とあれば支援する。
	○看護職との協働			

45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	法人内や地域の看護職とも協働している。	○	看護師に必要な場合は相談し、日常の健康管理を行っている。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係者との情報交換や相談に努めている。入院した際は面会に行き病院関係者との情報を得よう努めている。	○	利用者の症状や経過情報を得情報交換や相談に努めている。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	補遺人やかかりつけ医又家族と話し合いの場を持ち方針の共有に努めている。	○	家族や本人の意思に沿って、重度化や終末期に向けた方針の共有に努めている。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期に向けたチームでの支援に努めている。	○	今後の変化の備えて準備や検討を行っている。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人や家族の希望を聞きながら住み替えによるダメージの防止に努めている。	○	今後も継続して実施していく。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けをする時は、自尊心を傷つけないよう配慮し、プライバシーの確保に努めている。	○	個人情報に注意しながら行う。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に声かけし、良く話しを聞き利用者の希望を理解し自己決定できるような支援をしていく。	○	集団生活の中で個人のペースで生活を行う難しさがあるが、利用者と話をしながら、希望に沿えるよう努力していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り、利用者のペースで生活できるよう支援しているが、食事の時間や入浴日等職員側で決めているときもある。	○	一人一人のペースを大切にして、ご自分の希望や思いを表せない人に対しても望まれるサービス提供出来るよう努めて生きたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	衣類などご自分d選ばれているが、着こなしに問題があった時は、さりげなく声かけし、直していただく。理美容は希望される時は、お連れしている。又苑でもカットしている。	○	今後も継続していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を取り入れながら、メニューを作成するよう心がけている。食事の形態も希望を取り入れている。又出来る方には職員と一緒に準備・片付け・食器拭きなどをしていただいている。	○	今後も継続していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者が希望されたものは、提供している。:おやつ時は飲み物等好みを聞いている。現在はアルコールやタバコを必要とする方はおりません。	○	今後も継続していきたい。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄パターンを把握して必要な利用者には、誘導 見守り支援している。	○	今後も現状維持を保てるよう努力していきたい。
	○入浴を楽しむことができる支援			

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は施設で決めているが、利用者が汗をかいたり、望む時は入浴していただいている。拒否があるときは時間を空けて再度声かけしている。	○	利用者が希望する時に入浴を楽しめるよう、検討が必要だと思う。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の睡眠パターンを把握し、気持ちよく休む事ができるよう支援している。昼寝する方にはしていただいたり、希望に沿った休息をしていただいている。	○	一人ひとりが自宅で生活しているように自由な休息・安眠を促している。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が、好きな事をして過ごせるような環境作りを行っている。又出来る方にはモップがけや掃除などに参加されている。	○	最近介護度が高くなっている方も多く役割を実行出来ない方もいるが、出来る範囲内で支援を行って行きたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	苑でお預かりしている。買い物に職員と一緒にいかれた時、希望があれば使われている。	○	バザーや買い物ツアー等お金を使う機会や環境を提供できるようにしていきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所を散歩されたり、外食やドライブを実施している。5月から新型インフルエンザの流行の為7月まで中止している。	○	可能な限り、外出できる環境を作り、季節を味わっていただくようにしたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	新型インフルエンザの影響の為実施出来ていない。	○	ご家族やボランティアの力をかして頂き外出や外食等実施できるよう努力していきたい。:
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手作りはがきやを作成して、てがみを書いたり電話の支援を行っている。	○	利用者のご家族から電話がかかってきたり手紙が届いています。
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問できるよう説明を行い支援している。定期的に姉妹で来苑され楽しいひとときを過ごされているご家族もいます。	○	今後も継続していきたい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵は利用者に任せています。玄関の鍵は安全の為に掛けており門扉は日中は開けてる。	○	現在の状況では道路に面しており危険防止の為に玄関の施錠は仕方がないと思っています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら安全を確保するよう配慮している。	○	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に応じて取り組んでいる。	○	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に一人ひとりの状態を考え転倒防止に取り組んでいる。	○	事故を未然に防ぐよう取り組んでいるが、現状では、転倒のリスクがかなり大きい。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	すべての職員が応急手当や初期対応の訓練は出来ていない。	○	全職員対象に訓練を行えるよう検討していきたい。
	○災害対策			

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は行っているが地震、水害を想定しての訓練は行っていない。	○	今後は想定しての訓練を行って行きたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスク対応に関する家族との話し合いは行っている。	○	常に気づいた事は家族に伝えている。リスク対応に関する家族との話し合いも行っている。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異常には速やかに報告し、情報を共有し対応している。	○	今後も継続していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や用法、用量について理解しているが少人数の職員は理解していない人もいる。	○	利用者が服用している薬の内容を全職員が理解できるように指導していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便状況に注意し、野菜等繊維質が不足しないよう配慮したり必要時には下剤など服用していただいている。	○	下剤にたよるだけでなく、散歩や体操等からだを動かして排便を促すよう支援していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後利用者の口腔内の環境に応じた口腔ケアを行っている。	○	個々に合わせて口腔ケア歯間ブラシなど使用しもっと充実したケアを行っていきたい。
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのときの状態に応じた栄養バランスを考え提供している。メニュー作成時バランスを考えている。個々の咀嚼力に応じた食事形態や水分摂取量の支援に努めている。	○	
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人全体で感染症委員会を設置定期的に開催。予防対策を実施している。手すり、トイレ、ドアなど毎日消毒を行っている。又手洗い、うがいを十分行っている。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に衛生管理に十分な注意を払い毎日ふきん、まな板の消毒や調理用品を定期的に消毒を行い食材は前日に使用する分だけ購入し賞味期限を守っている。	○	
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前では季節の花が植えられ、玄関や階段には四季折々の飾りつけをしたり、アロマや照明で来苑者をもてなす工夫をしている。	○	地域の花やさんの好意により毎週1回お花の提供があり苑内に飾って楽しんだり、入浴の際フラワー入浴を楽しまれている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には常に花を飾ったり、香りを楽しめるよう工夫したり、玄関カレンダーには手作りの日めくりカレンダーを置き、利用者が毎日楽しみながらめくっている。	○	日々利用者の皆様が居心地よく暮らせるよう努めている。又利用者さんの手作り作品を飾り付けて楽しんでいただくよう心がけていく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関フローア長椅子、食堂内には藤椅子が置いてあるが、余り活用されていない。	○	今後はフローアや廊下に椅子やミニテーブルを置いたり工夫していきたい。
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談して使い慣れた品物をお使いいただき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	○	
	○換気・空調の配慮			

84	<p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>温度調整はこまめに行い換気を行っている。においなどは注意を払い香りなどで工夫している。</p>	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全な環境作りに努めている。</p>	○	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>わかる力を活かして環境作りを行っている。:五感を働かしたり刺激ある生活の場を工夫している。</p>	○	
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の外回りや玄関周りの花壇作り、裏庭の畑で野菜を収穫し食材に使用し又利用者の居室から畑を見る事が出来喜んでいる。</p>	○	



## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)